

	<p>発行所 〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10-10 石川県立金沢泉丘高校内 一泉同窓会 電話 (076) 242-0211 FAX (076) 216-5656 2013. 3. 31. 発行 E-mail: issen.knz@hotmail.com</p>	
---	---	--

明治26年に石川県尋常中学校として発足、県立金沢第一中学校などに校名変更して今日に至る金沢泉丘高校は平成25年の今年、創立120周年を迎える。一泉同窓会はこの節目の年に当たり母校のさらなる発展を期すため、教育環境の充実などの記念事業を行う。事業費の総額は2600万円で、昨秋から同窓生に対して寄付をお願いしている。2月末までに寄せられた寄付金は約1700万円(65%)。締め切りは6月末だが同窓会事務局では計画した諸事業が滞りなく遂行できるよう、まだ未納の同窓生に対して1口3000円以上の協力を呼びかけている。

## 吹奏楽部に新しい楽器寄贈

120周年記念事業への取り組みは4年前から始まり、準備委員会(蚊谷八郎委員長ら18人)と強化した実行委員会(深山彬委員長ら33人)で内容・予算を審議、昨春の一泉同窓会代表委員会で決定、さらに秋の一泉同窓会総会で発表して、同窓生全員のものとした。

それでは記念事業の内容を紹介しよう。

### ①遠征用バス2台購入 1,300万円

1台目は22年10月に前倒し寄贈しており2台目は今年9月末に導入、寄贈する。

### ②校内に電子掲示板設置 500万円

生徒に災害時の緊急速報や日常の連絡事項を知らせるもので10箇所を設置、4月の新学期から稼動する。

### ③吹奏楽部用楽器の購入 400万円

4月8日の始業式に贈呈。

### ④記念式典・記念講演会 200万円



電子掲示板のイメージ写真

## 創立120周年の記念事業決まる 電子掲示板設置など6事業 費用捻出の募金に協力を6月末締め切り

創立記念日の今年10月15日の午前中に母校・啓泉講堂で実施。記念式典ではこの10年間

の歴代校長や永年勤続教諭を表彰する。続く記念講演会は鷺田清一前大阪大学学長を講師に迎える。鷺田氏は哲学者で現象学、身体論を専門としファッションの研究でも知られ、著書も多数。聴講希望者は同窓会事務局まで連絡すればよい。

### ⑤一中・泉丘発祥の地に記念碑建立

100万円

金沢市本町1丁目の西福寺境内に建立。6月中旬に除幕式。

### ⑥映像資料のデジタル化 100万円

同窓会事務局の1階、資料室に残るビデオテープなどをデジタル化して永久保存する。

## 「会員名簿」販売にも協力を

このほか同窓会では「会員名簿」を10年ぶりに発行する。今春卒業の泉丘65期生まで約4万人を掲載、A4版、約千ページ、厚さ約4センチ。価格は送料込みで4千円。名簿資料調査カードで注文を受け付けているが、すでに調査カード投函済みの方でも事務局への注文で販売への協力をお願いしている。

## 烏山頭ダムのほりにある八田與一像



### 120周年で3つの記念行事実施

## 台湾旅行の参加者を募集

10月15日には祝賀パーティー

一泉創立120周年記念事業実行委員会（深山彬委員長）は、3つの記念行事を代表委員会に提案、賛同を得た。内容を紹介します。

#### ◆120周年を祝う記念パーティー

創立記念日の10月15日（火）午後6時から金沢駅前のANAクラウンプラザホテルで平成25年度総会に続いて開催。詳細は幹事期の泉丘32期（鏗隆弘実行委員長）で検討中だが、1000人規模の楽しく意義深いパーティーにしたいとしている。中でも泉丘の名声に大きく貢献した一中卒業生に、いかに多く出席してもらおうかに力を入れている。

#### ◆120周年記念ゴルフ大会

記念パーティー翌日の10月16日（水）に片山津ゴルフ倶楽部加賀コースで開催する。最大36組144人の参加でショットガン方式でスタート。プレー費・パーティー費は参加者負担。詳細が決まり次第、同窓会のHPや各期代表委員を通じて参加者を募集する。

#### ◆八田與一技師の遺功を辿る台湾旅行

八田技師（一中11期）が建設した烏山頭ダムの見学や故宫博物院・台北、台南市内観光を楽しむ3泊4日の旅で費用は約10万円。11月15日に小松空港発、18日に帰国、羽田や関空発着もある。名簿用調査カードで参加者を募ったが、これからの参加申し込みも可。また一人が同窓生なら夫婦、親子でもOK。希望者は一泉同窓会事務局（電話 076-242-0211）へ申し込みばよい。

## 一泉創立120周年特別寄稿

私は昭和14年に金沢一中に入学、19年に卒業した一中51期生である。4年生在校時の17年に創立50周年記念を迎え、以降社会人として38年に70周年、58年には90周年、平成5年には100周年を祝賀することが出来た。同25年の今年、88歳となり身体は多少弱ってきているものの、10月15日には創立120周年記念の栄光を祝うことが出来ると思っている。

### 磨くほど光る「金の卵」の集団

私の一中在校期は、日中戦争の長期化と太平洋戦争への突入が国民生活全体を戦時一色に彩り、厳しい軍事統制教育真っ只中の学生生活であったが校風・生徒の気風にはわずかながら自由の残影が残されており、古き良き時代の学生生活をささやかながら味わうことが出来た最後の期であったように思う。

低学年のころ、担任のU先生からよく聞かされた言葉が強い響きを持って今も心に刻まれている。それは「君たち一中生は県下の小学校から選抜された『金の卵』である。磨けば磨くほど素晴らしい黄金の輝きを発する人材集団である。その誇りを忘却することなく心身を練磨し勉強に努めて大成せよ」という激励の辞である。

老境にある今、走馬灯のように思い浮かぶ人生を回想するとき、金沢一中という伝統ある名門の学び舎で個性豊かで格調高い恩師の警咳に接し、多くの有為の友と共に過ごし得た在校の5年間は、我が人生の中で最も無垢で・誇り高く・そして若さ故の奔放さが許された輝きある青春の一コマとして映し出されるのである。奇しくも母校の120周年記念



菜の花畑に囲まれた旧一中・泉丘校舎

メに自らの米寿を重ねて祝賀することが出来ることは、多くの友が黄泉の地にある今、天与の幸運というしかなく心から感謝しなければならぬと思っている。

### 櫻章は堅忍不拔の精神喚起の糧

私が社会人として第一歩を踏み出したのは終戦から暫時を経た昭和23年であるが、激動の昭和・平成をひたすら走り続けた50有余年を想起するとき、名門金沢一中の持つ伝統と名声に救われた局面のいかに多かったことか。金沢一中の卒業者というだけで上司との間に信頼感が生まれ、関係部門においてもその中枢部にはほとんどといっていいほど有為の先輩諸兄がおられ、力強いご支援を賜ったこと、



## 金沢一中・泉丘高の名声は誇り

一中51期 園部 哲三

挫折感に覆われたとき思い浮かぶ櫻章は堅忍不拔の精神を喚起する糧となり、さらなる奮起につながったことなど、名門校の伝統という無形の巨柱と光輝ある名声の力感が身にしみてありがたく思える。

### 校訓7カ条と校是は伝統形成の礎

金沢一中の伝統を築いた精神的支柱は、明治32年に制定された「校訓7カ条」であると思う。第1条の「尊皇愛国の志気」は敗戦後の国家体制の変革により当然排除されなければならないが、残る6カ条は「師長の敬重と学友の信愛、精神の鍛錬と言行の一致、審問慎思、身体が強壯、質素勤勉」などという人間形成の要諦を説き、時を経て質実剛健・堅忍不拔の校風に要約されていった。

### 金沢市の本多町公園にある櫻章校跡地の碑



一方、泉丘高校の校是は「心身一如」とある。心とは勉学に勤しむ精神のことであり、同時に思いやりや豊かな情操でもある。また身とは鍛錬された健全な身体である。つまり「心身一如」とは心と身とが一体となり、バランスよく成長していくことが大切であると説いている。両校の校訓・校是とも表現に違いがあるものの、それはあくまでも時流に沿って変転した必然的な時代思考であり、「心身から発すべき人間形成の精神的信条」を伝統形成の根幹としている点ではいささかも相異していない。言うなれば泉丘高校は前身校金沢一中の伝統・校風を今風にしっかりと受け継いで歩んでいるのである。

### 国家有為の人材たるべく邁進を

また、金沢一中卒業の諸氏が泉丘高校という校名の前に名門金沢一中の校名が存在することが、泉丘高校の名声をより大きく確かなものとし、そのことに誇りを持っていることも無根の話ではないと思う。

在校生諸君には120周年という光輝ある節目の年を機に、心身一如の校是のもと「勉学一心、心身の練磨一心」の道を歩み、「国家有為の人材たるべく、斗南の一枝たるべく」邁進、雄飛されんことを切に願っている。



林クリニック

院長 林 茂 (泉丘10期)

〒921-8173 金沢市円光寺 3-13-15  
TEL (076) 243-4801(代)

内科 循環器科 呼吸器科

池田内科クリニック

院長 池田 清司 (泉丘13期)

金沢市高尾台 1 丁目112  
(高尾台中学校向い)  
TEL 076-298-9999

医療法人社団

山崎外科胃腸科医院

院長 山崎 軍治 (泉丘15期)

〒929-0325 石川県津幡町加賀爪120  
TEL(076)289-2288(代) FAX(076)289-2642  
E-mail yamazakihp@p2223.nsk.ne.jp



## 創立120周年へ向け結束誓う 総会に840人、清水会長を再選

創立119周年記念・平成24年度の一泉同窓会総会・懇親会が10月15日、金沢駅前のホテル日航金沢で開かれた。出席した約840人が旧交を温めると共に、来年度に迎える創立120周年記念事業・行事に向け一致協力していくことを申し合わせた。

清水義博会長（泉丘22期）が「来年は歴史の一ページを刻む120周年だが、一泉パワーで協力の輪をさらに大きくしてほしい」とあいさつした。また、村澤勉校長（同23期）は日頃の母校支援にお礼を述べ、今年3度目と

なる台湾への修学旅行や理数科の米国研修旅行など母校の様子を報告した。

続いて中山一郎事務局長（同10期）が120周年の記念事業と行事について説明、参加者の賛同を得た。役員改選では新たに副会長に小倉一郎氏（泉丘40期、北菱電興社長）を加え、笠置研一監事（同11期）の後任に澤田力雄氏（同15期、金沢信用金庫 OB）が選ばれた。

懇親会は31期の長田充広君、亀田はるみさん、小山田真由美さんの司会で進められ、同期の能楽師・殿田謙吉君の謡「高砂」の後、蚊谷八郎前同窓会長（同14期）の乾杯の音頭で宴に入った。にぎやかな歓談の合間には母校見学会の様子がVTRで紹介され、31期有志によるミュージックベル演奏が参加者を楽しませた。

最後は恒例の一中・泉丘の両校歌と応援歌を大合唱＝写真＝、31期の玉川昌範実行委員長が謝辞を述べて32期の鏗隆弘実行委員長にバトンタッチ、鏗委員長は120周年にふさわしい総会・懇親会にしたいと決意を述べた。続いて林隆信副会長（同22期）が来年の再会を期して3本締めを行い散会となった。

## 厳霜碑前で物故者慰霊祭

平成24年度の一泉同窓会物故者慰霊祭が10月15日午後、母校の厳霜碑前で営まれ、同窓生や学校関係者ら32人が参列した＝写真＝。石浦神社の長谷吉慶宮司が祝詞を奏上、清水義博会長（泉丘22期）、渋谷亮治元会長（一中54期）、蚊谷八郎前会長（泉丘14期）、村澤勉校長（同23期）、藤田耕造教頭（同28期）、玉川昌範今年度総会実行委員長（同31期）らが玉串を捧げて亡き師や級友の霊を慰めた。



今年も参列者の最年長は一中43期中川松雄さん（94歳）で、太田重雄さん（同50期）、西野貞雄さん（同52期）、浅野俊一さん（同54期）ら一中勢も元気に参列された。

### 岡本小児科医院

院長 岡本 力（泉丘16期）

〒921-8011 金沢市入江1丁目616-1  
TEL 076-291-9511(代)

内科・小児科

### 紺谷医院

院長 紺谷 一浩（泉丘16期）

〒929-1171 石川県かほく市木津へ12-1  
TEL(076)285-0020 FAX(076)285-1999

産科・婦人科・内科

### 丘村クリニック

院長 丘村 誠（泉丘18期）

〒920-3124 金沢市荒屋1-87  
TEL 076-258-6116 FAX 076-258-6211

## 初の母校見学会にぎわう

一中・泉丘の卒業生を対象にした大掛かりな「母校見学会」が10月14日の日曜日に開かれ、90歳代の中一OBから20代の泉丘OBまで約240人が母校を訪れた。24年度の一泉同窓会総会・懇親会の運営に当たる泉丘31期が企画したもので、さまざまな卒業期の同窓生が母校に集ったのは初めて。

啓泉講堂には昭和25年からのクラス写真や旧校舎と新校舎の写真や模型、歴代校長の顔写真が並べられたほか、4階の教室では「厳霜碑」の由来や碑文の内容を紹介した資料が展示された。また、物理実験室では同窓会の



資料室に保存されている昔の学校行事や野外劇のダイジェスト版「思い出の映像」がスクリーンに映し出された。

見学会には現役生も協力、講堂では吹奏楽部が校歌などを演奏して先輩たちを迎え＝写真＝、参加者たちは大きな声で歌う感激的一幕もあった。また、生徒ホールでは茶道部が抹茶でもてなし、美術部、書道部も作品を展示して歓迎した。さらに食堂も特別オープン、「一泉丼」や東大の食堂のレシピによる「赤門らーめん」などが販売され、後輩たちの昼食風景に思いをはせて箸を取る姿も見られた。

## 地区同窓会だより



## 384人が世代を超えて交流

関東一泉総会 新谷会長ら全役員留任

関東一泉同窓会の平成24年度総会・懇親会が10月27日、東京・新宿の京王プラザホテルで開かれた。95歳の中一42期生から今春卒業の19歳・泉丘64期生までの384人が出席、「新しい『つながり』をみつけよう 一泉の伝統のもとに」をテーマに世代を超えて交流し、絆を確かめ合った。

担当幹事期・泉丘33期中嶋敦史代表が開会を宣言、新谷修関東一泉同窓会会長（同11期）と来賓の清水義博一泉同窓会会長（同22期）、村澤勉泉丘高校校長（同23期）があいさつした。続く総会では役員改選と規約の一部改訂が行われ、役員は全員留任となった。

懇親会は鏡割りの後、林隆信一泉同窓会副会長（同22期）の乾杯で始まった。映像タイムでは金沢の一泉同窓会や懐かしい母校の様子が紹介され、新しいつながりタイムでは15人ほどが世代を超えてチームを組み、「ご当地クイズ」に挑戦するなど＝写真＝楽しいひと時を過ごした。最後に一中・泉丘の校歌を合唱、山岸章関東一泉同窓会副会長（同17期）が開会のあいさつをして名残を惜しみ散会した。

医療法人社団

### 新村病院

白山市月橋町722-12 ☎(076)273-0100

社会福祉法人 鶴来会  
特別養護老人ホーム

### あじさいの郷

白山市明島町春130 ☎(076)273-0123

理事長 新村 康二 (泉丘18期)

泌尿器科・皮膚科

### 中嶋医院

中嶋 和喜 (泉丘19期)

〒921-8111 金沢市若草町2番35号

TEL (076) 241-7717・241-2528

### むらた小児科医院

院長 村田 祐一 (泉丘19期)



〒920-0341

金沢市寺中町ト5番地

TEL (076) 268-8688

URL <http://www.kma.jp/MURATA/>

## 長岡さん(43期)が10万円寄贈 関西一泉総会の運営費に

関西一泉同窓会の第32回総会が6月2日午後、大阪市中央区のパノラマスカイレストラン・アサヒで103人が出席して開かれた。金沢から清水義博本部同窓会長(泉丘22期)、村澤勉校長(同23期)、恩師の三宅正敏先生ら6人が出席したほか、今秋の一泉同窓会総



会幹事の同31期・玉川昌範実行委員長ら5人も特別参加して「秋には金沢でお待ちしています」とPRした。

菅野悦次君(同19期)と宮本晴江さん(同13期)が司会を務め、片瀬貴文会長(一中55期)があいさつ、続いて清水本部長が祝辞を述べ、来年迎える一泉創立120周年記念事業への協力をお願いした。村澤校長は母校の現況報告を兼ねてあいさつした。また、今年も最年長出席の長岡寛厚さん(同43期、94歳)から総会運営費のために10万円が寄贈(3年連続)され、会場は大きな拍手に包まれた。

懇親会は越沢晃さん(同55期)の乾杯の音頭で始まり、金沢の銘菓が当たるラッキープレゼントで大いにわいた。最後に一中・泉丘の校歌を大合唱=写真=、辻本初枝副会長(泉丘4期)の中締めで宴を閉じた。今年も片瀬会長から参加者全員に松任の「あんころ」が土産に渡された。

その後はいつものように北新地の「珠洲」(松尾ゆきえさん経営・通信12期)で二次会が行われ、金沢組も出席してにぎわった。

## 大同団結して白山一泉に 松任総会 青木新会長が呼びかけ

31回目の松任一泉同窓会の総会・懇親会が11月17日、グランドホテル松任で美川や鶴来地区の同窓生を含め64人が出席して開かれた。役員改選では7年間会長を務めた福住孝氏(一中57期)が相談役に退き、代わって青木桂生氏(泉丘13期)が会長に選ばれた。青木新会長は「そろそろ大同団結して白山一泉同窓会を誕生させよう」と呼びかけた。

懇親会は米田和功君(同44期)の司会で始まり、来賓の清水義博一泉同窓会会長(同22期)がお祝いを述べ、小浦寛泉丘高校副校長(同29期)は文武両道に励む後輩たちの様子を報告した。

続いて最高年齢出席の金谷与平さん(一中46期)が乾杯の音頭を取り、酒宴に移った。



和やかな雰囲気の中で恒例のビンゴゲームが始まって一喜一憂、最後に一中・泉丘の校歌を斉唱=写真=、福田裕副会長(泉丘18期)が中締めのあいさつ、再会を誓って散会した。

その他の役員は次の皆さん。副会長=本屋操(同13期)、油省三(同14期)、岡島恵美子(同20期)、監事=中山幸昌(同9期)

(松本雅治=泉丘42期・記)

**やなぎだ眼科**  
エールコンタクトレンズ

院長 **柳田 隆** (泉丘19期)

〒920-0935 金沢市石引1-17-5  
TEL(076)265-3003 FAX(076)265-7017  
http://www.kma.jp/yanagida/

**加世多皮膚科医院**

院長 **加世多 秀範** (泉丘20期)

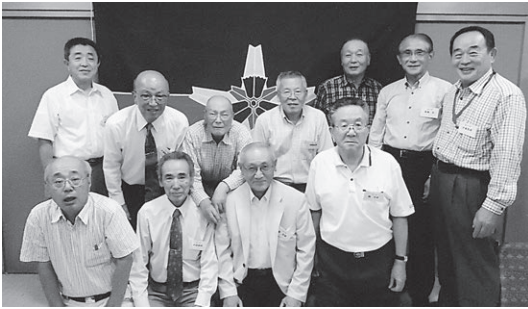
〒920-1167 金沢市もりの里3丁目7  
TEL(076)234-0050  
FAX(076)234-0150

歯科・小児歯科・矯正歯科

**加藤歯科医院**

院長 **加藤 成俊** (泉丘20期)

金沢市森山2丁目23番17号  
☎(076)252-4182



## 三馬一泉、24年連続で開催

三馬一泉同志会の総会・懇親会が6月28日夜、金沢市野町4丁目の割烹料亭「むとう」で開かれた。年々出席者が減っているが連続24年目の開催で、今年は東京から一中50期の堀吉彦氏（三馬小学校卒）が特別参加するなど、集った11人は地域の昔話と一中・泉丘の在学時代の話に花が咲いた＝写真＝。

大西俊治会長（泉丘7期）のあいさつの後、最年長・太田重雄氏（一中50期）の乾杯で懇親の宴となり、杯を重ねるうちに堀、太田両大先輩から往時を懐かしむ話しが続出、知らなかった三馬地区の歴史に聞き入った。最後に応援歌、一中・泉丘の校歌を歌い、時間の過ぎるのも忘れるくらいだった。楽しい出会いを何とか後輩たちに伝え、参加を促す活動を続けることを誓い合って散会した。

（北島敏男＝泉丘8期＝記）

## 光が丘一泉、最多の21人に

金沢市光が丘周辺の一泉同窓生の集い「光が丘一泉会」の6回目は9月9日、金沢国際ホテルで開かれた。今年は新たに安田久さん（泉丘5期）、堅田郁代さん（同9期）、宮田進一さん（同37期）の3人が加わり、参加者は発足以来最多の21人となった＝写真＝。

### 丘村歯科医院

丘村 義人（泉丘21期）

金沢市平和町2-21-22  
TEL (076) 247-1871  
FAX (076) 280-4072

内科・麻酔科・リハビリテーション科

### 佐伯ペインクリニック

院長 佐伯 善機（泉丘22期）

金沢市弥生2丁目21番15号  
☎ (076) 280-2262

医療法人社団

### 津田歯科医院

理事長 津田 幸夫（泉丘22期）

〒921-8112 金沢市長坂1-1-1  
TEL・FAX (076) 241-7237（代）

泉丘高校の事務部と生徒課は昨秋、図書館棟横に広さ9.3平方メートル、高さ2.3メートルのスチール製物置2棟を建て、同棟1階の一泉同窓会資料室前廊下にあったテント15張と除雪車2台を仕舞い込んだ。

平成25年に一泉創立120周年を迎える

ピックス

## 資料室前廊下がきれいに

と母校を訪れ、資料室を見たいという同窓生が多くなると考え、事前にきれいにしたものを。破損した机や壊れたトレーニング機器なども片づけられ、資料室への出入りがスムーズになった。同窓会事務局ではこれでいつでも資料室へ案内できることになり、胸をなでおろしている。

岡田喜昭代表世話人（同13期）のあいさつ、新加入者の自己紹介、中野他喜夫さん（一中52期）の音頭で酒宴が始まった。途中、同ホテルに用事のあった山野之義金沢市長（泉丘32期）が顔を見せてあいさつするサプライズもあり、大きな拍手がわいた。カラオケタイムで盛り上がった後に一中、泉丘の両校歌、応援歌（南征の調べ、香雲、猛勇）を歌い、最長老の石田豊さん（一中51期）の中締めで来秋の再会を約して散会した。

（畝村邦夫＝泉丘11期・記）



一中・泉丘 各期の集い①

◆一中46期が4年ぶりに同窓会再開

金沢一中46期の同窓会が5月10日、金沢市の湯涌温泉「湯の出旅館」で開かれた。わが期の同窓会は米寿の平成20年で一応幕を閉じたのだが、昨年、最年少の級友も90歳の卒寿を迎え、記念の集いをとの声もあって今回の再開同窓会となった。

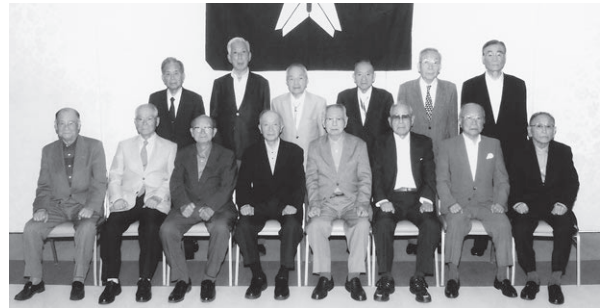
昭和14年卒業の46期生は183人のうち、第2次世界大戦で24人の戦死者を出すなどまさに激動の昭和を生き抜いてきた。現在29人が生存、うち27人に参加を呼びかけたがこの歳になると流石に体調不良者が多く、当日集ったのは7人だった。集合場所の同市本多町の旧一中校舎跡の県立図書館横には富山の高瀬博君が「残念ながら同行できないけど皆の顔が見たくて会いに来た」と顔を見せ、75年前に戻ったようだと言っていた。

会では一人ひとりが近況を報告、瀬川成君夫人の踊りも華を添え青春時代に帰ったような雰囲気包まれた。身体の都合で4人が日帰りし、泊まったのは3人だけだったが、すがすがしい思いのこの集いは級友たちの胸に長くとどまることと思う。

出席したのは次の皆さん。片岡茂太郎、金谷与平、瀬川 成、長沢剛正、藤井欣一、宮村利雄、村上淳男。(片岡茂太郎・記)

◆金沢一中51期・一櫻会が同窓会

金沢一中51期・一櫻会の平成24年度同窓会が5月24日、金沢市大手町のKKRホテル金沢一泊で開かれ、参加した15名(関東2名、関西3名、中部1名、地元9名)が今年も元気で顔を合わせられた幸せをかみしめた=写真=。



例年のように中野利男君の司会で始まり、代表幹事の私・園部が歓迎のあいさつをし、「来年が我々の米寿(88歳)」と「一櫻会設立65周年」・「母校の創立120周年」と三つの慶事を迎える節目の年に当たるので、最後の同窓会とも言える「三つの慶事を祝う記念同窓会」をしっかりと開催・全うして一櫻会の幕引きとすることを決めた。

この後、中野君から昨年同窓会以降に岸本孟君、中井秀了君、寿美田外雄君の三名が亡くなったこと、葛西義隆が消息不明になったことが報告され、144名の物故者に対し黙祷を捧げて冥福を祈った。また、石田豊君から「櫻章健児五十一期生の記録」の編集に携わった諸氏に対し改めて感謝の言葉があった。

懇親の宴は朴木春夫君の乾杯の音頭で始まった。宴は終始和やかな談笑のうちに進行する様子はここ数年変わることのない姿であり、予定の2時間余も“春宵一刻”という感じ。

最後は宮野良雄君の一本締めで閉会し、翌日は朝食後自由解散した。

出席者は次の皆さん。〈関東〉朴木春夫、和田静夫〈関西〉塚本増能、水落 出、宮野良雄〈中部〉大森三郎〈地元〉石田 豊、金森 義、寺中吉造、野田邦夫、福田義昭、園部哲三、竹田徳太郎、中野利男、室谷与三松

(園部哲三・記)

中塚歯科医院

中塚 直 (泉丘22期)

金沢市額乙丸町ハ84-4  
TEL (076) 298-6533

歯科・小児歯科・歯科口腔外科

ヒラ歯科医院

院長 平 一彦 (泉丘22期)

金沢市笠舞1丁目23-23(パレット内)  
ムシバワ  
☎ (076) 222-6480

胃腸科・外科・理学診療科・こう門科

北村クリニック

院長 北村 徳治 (泉丘23期)

〒920-0853 金沢市本町2-5-5  
TEL(076)232-1515 FAX(076)232-1501



## ◆関東八泉会に25人が集う

泉丘8期の関東地区同窓会「関東八泉会」が4月3日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷「白山の間」で開かれ、出席した25人（男子20人、女子5人）が2年ぶりの再会を楽しんだ。

当日は爆弾低気圧来襲との報道があり、開始時間を早めて全員が揃った午後零時半に乾杯して酒宴を始めた。金沢から駆け付けた八泉会代表幹事・福田太睦君から一泉同窓会や母校の様子、八泉会の活動状況が報告された。鷺田巖君の司会で酒を酌み交わしながら一人ひとりがスピーチして旧交を温めた。最後に今田尚俊君の関東一本締めで3時間近い会を閉じた。（茶屋勝也・記）



## ◆泉丘8期八泉会が3年ぶりに同窓会

泉丘8期・八泉会の同窓会が9月20日、金沢ニューグランドホテルで開かれた。今回も関東・関西の県外勢15人を含め総勢59人の参加となり＝写真＝、恩師の普神貴行先生（泉丘2期）を囲んでいつものように懐かしい話に花を咲かせた。

櫻敏子さんの司会で亡き級友86人に黙祷を捧げ、福田太睦代表幹事が歓迎の言葉を述べ、関東の荒木二夫幹事の乾杯で宴が始まり、和気あいあいの中で旧交を温めた。後半はビンゴゲームを楽しみ、青春時代のはやり歌を歌

## トピックス

一中57期の田上光さん（砺波市）が6月29日、母校・泉丘高校のグラウンドを訪れ、夏の甲子園大会石川県予選を前に猛練習に励む野球部にアメリカ・大リーグで使われるキャッチャーミットをプレゼントしてエールを送った。

田上さんは一中野球部最後の捕手で、後輩たちが出場する試合には必ず応援に駆け付けている。英語が得意で毎年アメリカ旅行を楽しんでおり、今年も5月30

## 一中57期の田上さん

## 野球部に米製ミット贈る

日から1週間、西海岸を旅した。その際、ロス・アンゼルスでローリングス社製のキャッチャーミットを買い求めた。同社は創業130年を誇るキャッチャーミットの専門店。

部員68人の円陣に囲まれた田上さんは、主将で捕手の金谷勇佑選手にミットを贈り「甲子園めざして頑張れ」と励まし、「敗れても次の目標がある。3年生は難関大合格のため勉強に精を出し、2、1年生は足腰を鍛えよ。それが文武両道の一中・泉丘生だ」とカツを入れた。

い、校歌斉唱へと続いた。懇親会の終了前に向献夫君から「3年後は長い、次回は2年後77歳の喜寿を祝って開催しよう」との提案があり、満場一致で決まり、西村外志雄君が締めのあいさつをした。二次会はホテル最上階のラウンジで時間を忘れてエンジョイした。

（茶屋勝也・記）

## わがばやし眼科

アイコンタクトレンズ  
近視レーザーセンター

院長 若林 謙二（泉丘23期）

医師 酒井 祐佳（泉丘51期）

（旧姓若林）

野々市市太平寺3-160（国道沿い）  
TEL (076) 294-0707 FAX (076) 294-0711  
URL: <http://www.waka.or.jp/>

医療法人社団

## 岡部歯科医院

理事長 岡部 浩一（泉丘24期）

〒920-0341 金沢市寺中町ホ74-18  
TEL・FAX (076) 268-4511

## きたがわ内科クリニック

・内科・神経内科・循環器科  
・リハビリテーション科

北川 義展（泉丘24期）

〒921-8063 金沢市八日市出町578  
☎ 076-249-9191

## 一中から泉丘へ 激動期の在校生たち

戦後、日本の学校教育は6・3・3・4制へと画期的な学制改革が行われ、昭和22年4月、六三制による新制中学校が発足した。本校でも翌23年3月、金沢一中が55年の歴史に幕を閉じ、4月には新制高校としての金沢一高（男子校）の誕生をみた。さらに24年4月には、学区制・男女共学・総合制（普通科、商業科併置）の「3原則」による金沢泉丘へと、占領軍の高校再編指令の徹底によって、短期間にめまぐるしい変遷を余儀なくされた。

激動の過度期を一中・一高・泉丘の在校生として過ごした5人の皆さんに、当時を振り返り状況と思い出を語っていただいた。



### 《昭和23年4月、新制金沢一高スタート》

一日本は敗戦を境に、教育の民主化をめざして学校制度が大きく変化したが、金沢一高がスタートした昭和23年4月時点の皆さんの状況からお聞きしたい。

中橋壽雄（一中55期） 昭和23年



3月、一中最後の卒業生となった我々は、4月に一高の3年生に編入し、翌24年3月、第1期生として卒業した。だから6年間も泉野原の校舎に通った。

一中4年修了で大学予科や旧制高校へ20数人進んだが、新制高校へ行かない者もいた。

上谷親夫（一中55期） 一高への編入は我々だけでなかった。記録によると一中から135人、二中から97人、三中から88人、小松から7人、輪島から3人、大聖寺と羽咋から各2人、七尾から1人、他県から8人のほかに私立の金沢中からも7人編入した。

普神貴行（一中56期） 昭和19年に一中に入学し、4年生まで在学した我々は、23年4月に一高の2年生に編入した。翌24年4月に泉丘3年生となって男女共学になり、25年3月に卒業した。途中の20年1月に戦争の危機的状況から特別教育の「科学学級」が選抜編成されたり、在学中6年間に名称が3回も変わるというめまぐるしい経験だった。



話し合った皆さん

大竹春生（一中57期） 昭和20年に私たちが入学した時は、学校はガラガラ。上級生が勤労働員で金沢市内や愛知県刈谷市などの軍事施設に配置され、先生方も引率で不在。



1年生には動員がかからず、一応授業があって一部上級生が代用教員を務めていた。8月に終戦を迎え、一中3年生を修了した23年3月に金沢一中併設中学校卒業生という身分に

## 6年間も同じ校舎に通学 一高 55期 在学中に3回も校名変更

なり、4月に新制高校の一高1年生になった。翌24年は泉丘の2年生。26年3月に第3期生として卒業するまでやはり6年間同じ校舎に通った。

酒井 浩（一中58期） 終戦の翌年・昭和21年4月、憧れの一中に入学した。しかし、22年4月に新制中学校が発足したため後輩が入って来ず、最後の一中生になった。



そして2年生修了後の23年4月には、まだ新制高校入学の年齢に達していないため市立工業高校併設中学校3年生として、泉野町にあった同校へ転校させられた。市工の帽章を付け、スポーツの応援など全て市工生の規律に従わされ、辛い1年間だった。24年4月、私は泉丘の1年生になれたが、小学区制のため一中同級生256人中、約半分しか泉丘へ戻れなかった。泉丘は27年卒業の4期生だ。

## 《旧制高校的雰囲気の中、統合校の悩み》

一新制高校に生まれ代わっての学校の様子や印象深かったことは。

上谷 いろんな旧制中学から生徒が集り、寄り合い世帯的な中で一部生徒の中には無軌道な行動も見られた。しかし、四高教授だった大河良一先生が一中12代校長から一高の初代校長になられて旧制高校の理念を新制高校に受け継ごうと尽力され、その熱意が我々にもよく伝わった。一高の選択教科にドイツ語があったのも懐かしい。

中橋 戦後間もないので剣道、柔道、弓道は復部できなかったが、金沢市内の旧制中学3校を統合したような一高の運動部は無敵で、野球部は甲子園に出場した。私はラクビー部で東海代表と中部地区代表を掛けて戦った。

普神 一中の頃は廊下に窓の影が映るぐらい床がピカピカだった。20年に校舎内に陸軍

## 一中 57期 市立工高併設中学へ転校 一中 58期

経理学校が入って来て3階に大講堂を作るため壁をぶち抜いた。この工事が校舎の傷みを早めたといえるかも。

大竹 私もその工事は覚えている。それより一高から二水や桜丘に転校することになった連中は、窓から外へ机や椅子を抛り投げていた。学区制で振り回される不満かも…。

酒井 一中に入った時、先輩には恐いほどの威厳を感じ、校内もきれいだった。市立工業併設中学校から泉丘生として戻ってきたら、壁に拳骨跡があったり腰板が破れていたりでびっくりした。

一文化部でも時代を反映した社会学研究、哲学研究をはじめ音楽、演劇、弁論、文芸、郷土研究など輝かしい実績が伝わっている。

上谷 私は新聞部を作り、23年7月に「いずみの原」を創刊した。月平均1回の発行でみんな意気盛んだった。予算があったわけで無く、広告を集めて費用を賄った。

一中から市立工高併設中学へ転校した3年2組の生徒たち



普神 私らも文芸部の雑誌発行のため、広告取りに奔走した。一高時代の新聞や雑誌発行は、学校側からの経費面での支援がなく、ほとんど広告代で賄ったので大変だった。学校がそうまでしての発行を認めたのは、生徒の自主性を尊重し、生徒を大人として信頼した大河イズムに他ならない。新制高校は旧制中学の延長では無く、むしろ旧制高校の伝統を受け継ぐものであり、その意味からも「いずみの原」は新制高校の象徴だった。私は縁あって母校の教諭となり、29年から50年まで新聞部の顧問をした。

## 《校章制定、そして一泉同窓会設立へ》

明治41年10月15日、日露戦争で倒れた同窓生を悼み、慰霊碑として建てられた厳霜碑。その後の一中生に忠君愛国の精神を鼓舞して来た厳霜碑は、昭和22年1月15日に撤去されて第一体育館の床下に仕舞われた。進駐米軍の万一の追求を恐れたためと言われている。同碑は28年、同窓物故者慰霊碑として再び校舎前庭の元の位置に姿を現した。

23年7月には金沢一高の校章が制定された。美術の宮沢外与治教諭の考案で、旧制一高の柏の葉に旧制金沢一中の桜の花弁を配し、真ん中に小円を置くデザイン。この校章は、泉丘高に受け継がれた。

また、30年2月には金沢一中同窓会と泉丘高の同窓会が合併して一泉同窓会が結成され、一中の伝統を泉丘に引き継ぐ形が作られた。

現在の泉丘の繁栄は、草創期の困難を乗り越えた先輩達の母校愛に負うところが多い。

一中・泉丘 各期の集い②

◆九泉会14人が小豆島旅行楽しむ

泉丘9期・九泉会の小旅行が3月30日、瀬戸内海の小豆島一泊で行われた。12年前から気の合った同期の仲間で旅行を楽しんでおり、多い年は30人以上が参加することもあった。今回は男性10人、女性4人の14人が集った。

30日は午前7時に金沢駅をバスで出発、姫路港からフェリーで小豆島の福田港に渡り、映画「二十四の瞳」のロケ地などを見学、ベイリゾートホテル「小豆島」で懇親の宴を開いて親睦を深めた。翌31日は景勝地・寒霞溪を訪ね、土庄港から四国・高松に出て淡路島経由で夜9時過ぎに帰沢した。

(南 忠良・記)



◆関東泉丘9期秋の同期会に22人集う

関東泉丘9期の24年秋の同期会は11月11日正午から、さいたま新都心のホテル・プリラント武蔵野で開かれ22人が出席した=写真=。幹事の古村桂子さんのあいさつで始まり、眺めのいい和室で和食のフルコースを楽しみ積もる話に花を咲かせた。

近況報告で野口美智代さんが日展書道の部で入選の報告があり、一同で祝杯を挙げた。金沢から参加の上丸満君がふるさと便りを、私・西島がいしかわ観光特使とし白山麓を訪

ねた様子を報告した。青い山脈と校歌を歌い、中締め後にホテル内のカフェに移動しても話は尽きなかった。次回幹事は川上拓君と中村慶子さんをお願いした。(西島幸夫・記)



◆泉丘10期が栗津温泉で同窓会

2年ごとに行っている泉丘10期・泉寿会の同窓会が8月21日、栗津温泉「のとや」1泊で開かれ男性34人、女性16人の50人が出席して旧交を温めた=写真=。

事務局長の私・中山が司会を務めて亡き級友82人をしのんで黙祷を捧げ、長瀬直義会長が歓迎のあいさつ、金子兵衛関東泉寿会会長、河島和子関西泉寿会副会長が支部活動などについて報告した。

酒宴は金子君の乾杯の音頭で始まり、すぐににぎやかな歓談風景が広まった。余興では森礼子さんが艶やかに歌謡舞踊を舞い、フラダンス教室主宰の安原由紀子さんがムードアップリのフラを披露した。また、恒例のビンゴゲームでは全員が景品を手にして会場は笑顔に包まれた。最後に校歌を歌い、吉村雅彦副会長の中締めで一次会を終え、会場を1階ホールに変えての二次会はカラオケ合戦となって盛り上がった。

またこの日、小松カントリークラブで女性2人を含む12人で懇親ゴルフ会が開かれ、野々市孝君が優勝した。(中山一郎・記)

内科・消化器科  
循環器科・放射線科

**木村内科医院**

院長 木村 政徳 (泉丘25期)

〒921-8005 金沢市間明町1-346  
TEL076-291-3800 FAX076-291-0527

**ただなわ** TADANAWA  
orthopedics CLINIC  
整形外科クリニック

医療法人社団 輝秀会

院長 忠縄 秀一 (泉丘25期)

〒920-2154 石川県白山市井口町に80番1  
TEL076-272-1333 FAX076-272-3861

あなたの歯の健康を守る

DENTAL OFFICE  
**香林坊歯科クリニック**

医療法人社団 豊歯会

院長 永井 豊 (泉丘25期)

金沢市富樫・泉丘高グラウンド前  
TEL 076-243-4618  
http://www.243-4618.com

## ◆関東泉寿会が恒例の新年会開く

関東泉寿会（泉丘10期）の平成25年新年会が1月27日午後、東京・新宿の日本出版クラブ会館で開かれた。今年は北信越の大雪で金沢からの出席が心配されたが長瀬直義会長ら4人が無事到着、昨年より多い34人の集まりとなった＝写真＝。

会場では故郷の雪や北陸新幹線の話に花が咲き、直近のアルジェリア事件から防衛問題まで海外勤務経験者から熱い思いが話されるなど多岐にわたった。36Hの荒谷紀邦君の瑞寶小紋章の叙勲を祝った後、森礼子さんの歌謡舞踊、安原由紀子さんのフラダンス、ビンゴゲームと楽しい催しが続き、予定を大幅にオーバーするにぎやかさ。その勢いで会場を変えての二次会となり、7時半過ぎに名残を惜しんで散会した。（金子兵衛・記）



## ◆泉寿会本部も新年会

泉丘10期・泉寿会本部の平成25年新年会・総会が2月16日、金沢エクセルホテル東急で45人が出席して開かれた。

総会では長瀬直義会長が「皆さんの協力で2年間、無事に大役をこなすことが出来た」とあいさつ、役員改選に移り、次期会長に吉村雅彦君、副会長に若林茂樹君と林悦子さんを選出、全員で記念撮影した。

続く懇親会は吉村君の乾杯の音頭で始まり、金子兵衛関東泉寿会会長が近況報告した。歓談の後には、ビンゴゲームを楽しみ、みんなで歌おうコーナーでは「青い山脈」「高校三年生」を熱唱、校歌斉唱で閉めた。最後は今回で副会長を降りる浅香以都子さんの中締めで2時間半の会を終えた。（中山一郎・記）

## ◆泉丘11期と12期がゴルフ対抗戦

泉丘11期と12期のゴルフ対抗戦「泉友会」の24年度最終戦が10月19日、白山カントリークラブで行われ12期が勝利した。年度の通算成績も12期の3勝1敗でシーズンを終えた。

1年違いの先輩、後輩が4人対4人で対抗戦を始めたのは平成13年春から。その後徐々に仲間が増えて現在は11期12人、12期11人。ゴルフだけでなく全員夜の片町も大好きとあって、グロス戦での負けチームが毎回一次会の酒代を負担するのが特長。4月・片山津、6月・ツインフィールド、8月・能登カントリー＝写真＝と年4回の場所も決まっている。

最終戦の打ち上げ会はもちろん19日夜に片町で行われた。スポーツ精神にのっとり同窓生とあって和気あいあい。とは言うものの11期生たちは「来年は先輩の面子に掛けて全勝だ」と闘志を見せる一幕も…。

（浅田恒二＝泉丘12期・記）



内科・消化器科  
**松田内科医院**

院長 **松田 博人** (泉丘25期)

〒921-8041 金沢市泉2-7-1  
泉2丁目バス停横  
TEL 076-241-2505

医療法人社団

**伊藤 医院**

内科

理事長 **伊藤 英章** (泉丘26期)

〒928-0063 輪島市水守町中ノ瀬4-8  
TEL (0768) 22-2313 FAX (0768) 23-8953  
Eメール eishou-i@crocus.ocn.ne.jp



**おおみぞ内科・  
皮ふ科クリニック**

院長 **大溝 了庸** (泉丘27期)

副院長 **大溝由香里** (泉丘29期)

〒920-0922 金沢市横山町8番41号  
TEL (076) 224-0033 FAX (076) 224-0039



◆関東緑窓会に35人集い話弾む

関東緑窓会(泉丘12期)の24年度同窓会が6月3日、昨年と同じ池袋・ホテルメトロポリタンで正午から開かれた。首都圏と静岡市、福井市、白山市から35人が集まり、江尻弘幹事のにこやかな開会あいさつで久しぶりの出席者もすぐに打ち解けた。

懇親会は静岡から横浜へ引っ越したばかりの松任茂樹さんの乾杯の音頭で始まり、ホテル心づくしの味を堪能、歳のせい?であまり呑めなくなったと言いながらも瀬下孝之さん差し入れの日本酒をいただきながら話が弾んだ。中でも中本久慶さんが以前勤めていた福島会社が震災で被災したので、不足しているガソリンを白山市の自宅から車で何度も福島まで運んだという話に感動を覚えた。

談笑盛り上がるなか岩倉誠治さんのリードで校歌斉唱、笑顔の記念撮影=写真=をして矢部幹事の中締めとなった。予定時間をかなりオーバーしたがまだ陽が高く、別れを惜しむかのように池袋駅近くで二次会、三次会へと移行した。(村上与恵・記)

◆関東泉丘14期が伊豆大島に集う

関東泉丘一四期会は10月29、30日に「卒業50周年記念伊豆大島の集い」を開催、金沢から夫人同伴3組を含め12人が参加、総勢32人のにぎやかな集いとなった=写真=。

快晴の29日朝、東京・竹芝桟橋を高速船で出港、船上から眺めた見事な富士山にまず感動。大島到着後は標高750メートルの三原山を目指してハイキング、爽やかな海風を受けながらの山頂遊歩道散策を満喫した。

伊豆大島温泉ホテルへ戻っての懇親会では山歩き、ヨット、釣りなど5つの同好会世話人が1年間の活動を報告、自称名人によるカラオケで盛り上がった。翌日はゴルフ組が大島ゴルフクラブでコンペ、観光組はバスで島巡りを楽しんだ。

あれから50年、懇親会の語らいに、懐かしい校歌に、老いを迎えた心に青春のひと時を思い出させ、元気を与えてくれた伊豆大島での同窓会だった。(菅 謙治・記)



◆泉丘14期「一四会」が忘・新年会

泉丘14期「一四会」恒例の平成24年の忘年会が12月14日、金沢市主計町の鍋割烹「みふく」で23人が出席して開かれた。久々に顔を見せた森繁隆さんの乾杯の音頭で酒宴に入り、1年間の健康を祝すと共に名物のカキ鍋に舌鼓をうった。

明けての新年会も開催日、場所とも恒例で2月14日、東山の焼き鳥「ちょう吉」に19人が集った。今年は紅一点・西村みゆきさんが参加、いつもの年よりも場が華やいで盛り上がった。(宍戸 範・記)

**なからい小児科  
クリニック**

院長 **半井 孝幸** (泉丘27期)

〒920-1151  
金沢市田上第5土地区画整理地10街区1番  
TEL(076)234-1200 FAX(076)234-1222

**耳鼻咽喉科 安田医院**

院長 **安田 健二** (泉丘27期)

〒921-8154 金沢市高尾南3丁目18番地  
TEL(076)296-0960 FAX(076)296-0699

**白石歯科医院**

院長 **白石 貴城** (泉丘28期)

〒920-0274 石川県河北郡内灘町  
向栗崎5-31  
TEL・FAX (076) 238-4188

◆泉丘16期がプレ50周年同窓会

泉丘16期の同窓会が9月1日、金沢ニューグランドホテルで開かれた。来年の高校卒業50周年記念同窓会の準備を兼ね、プレ50周年と銘打って一堂に会したもので、県外勢7人を含む70人が出席した。

初めに466人の卒業生のうち亡くなった37人の級友の冥福を祈って黙祷を捧げ、次いで広瀬靖久代表世話人のあいさつと乾杯で懇親会に入った。来年8月17日に開く卒業50周年記念同窓会の開催方法や内容についてあれこれ話しが弾んだ後、思い出話などで一段と盛り上がった=写真=。

在校中の3年次には一泉創立70周年の記念行事があり、野球部は甲子園に、バスケット部も全国大会に出場、さらに高校相撲金沢大会では個人優勝するなどまさに文武両道の教えを貫き、お陰で応援団活動も活発だった。そんなこんなの話が尽きず、最後に応援歌と校歌を大合唱、来年の再会を誓って散会した。

また、この日、13人の同窓生が市内小將町の常福寺にお参りし、昨年12月1日に亡くなった34ホーム担任の浜名久雄先生の月供養と、前回同窓会後に亡くなった3人の級友の法要を行った。(山本武生・記)



◆14回目のおはこ会同窓会に69人参加

泉丘18期の同窓会・第14回おはこ会が今年

も「昭和の日」の4月29日、金沢駅前のガーデンホテルで開かれ、恩師の安高徹・楠禎一郎両先生を含め69人(内女性10人)が旧交を温めた。

私・縄野勉が司会を務め、まず坂尾憲次君のご好意と林隆太君のご寄付を發表して両君に感謝。福井清周代表幹事のあいさつと、この1年で新たに5人増えた同期物故者と東



日本大震災の犠牲者へ黙祷を捧げた。続いて岡部輝代さんと須田芳恵さんが両恩師の健康を祝して花束を贈呈=写真=、安高先生の祝辞、楠先生の乾杯の音頭で酒宴に入った。

後半の司会は亀田長之君に代わり、新村康二一泉同窓会副会長が来年の創立120周年記念事業などについて、同窓会代表委員の荒磯千舟君も母校の様子などをそれぞれ報告した。飲み語り大いに盛り上がった中で応援団の土田賢二君と岡田秀樹君のリードで校歌を斉唱した。最後に次回幹事・3組の丸山政彦君が引継ぎのあいさつをし、再会を約束しての散会となった。しかし、感動のパワーはさめず、元気な18期は二次会の酒席へ完全燃焼するため移動した。

また、この日、恒例の「おはこグリーン会」が加賀芙蓉カントリー倶楽部で開催され、柳田恭宏君が優勝した。安高先生も参加、マイペースでホールアウトされた。(縄野勉・記)

形成外科・皮膚科・美容外科  
医療レーザー脱毛研究所

**ひがしやまクリニック**  
HIGASHIYAMA CLINIC

副院長 **東山 玲子** (泉丘28期)

〒921-8116 金沢市泉野出町1-19-20  
TEL (076) 280-7773 FAX (076) 280-7750  
E-mail htakujih@angel.ocn.ne.jp

(有)金沢メディカルスキンケア  
TEL (076) 226-8882

医療法人社団隆整会

**川北病院**

整形外科・リハビリテーション科

理事長 **川北 哲** (泉丘29期)  
院長

〒921-8031 金沢市野町1-3-55  
TEL (076) 241-8351 FAX (076) 241-8398

内科・循環器科・消化器科・婦人科  
**四位例内科クリニック**

院長 **四位例 靖** (泉丘29期)

〒921-8041 金沢市泉1-1-5  
TEL (076) 280-1717 FAX (076) 280-4343



#### ◆泉丘22期が清水参与を励ます会

泉丘22期は5月13日、金沢駅前のANAクラウンプラザホテルで同期の清水義博一泉同窓会会長の金沢市参与就任を祝い励ます会を開き、17人が出席した=写真=。

清水氏はこれまで民間企業の経営者として活躍してこられたが、金沢市の行政に経済人の経験を生かしたいという山野之義市長（同32期）の意向を受け、まったく未経験の行政分野の仕事に就かれた。

我々22期は金沢市発展のため、新たに基礎自治体の行政分野に尽力される清水氏の勇気に感服し、同氏を励ます会を開いたもので、会では清水氏から抱負と覚悟の言葉が述べられ、出席者一人ひとりが励ましやねぎらいの言葉を送った。また、同期生全員で清水参与を支えていくことを確認した。（諸野 普・記）



#### ◆泉丘55期初の同窓会に74人集う

泉丘55期は12月30日、金沢市のW-ダブルローカルリゾートで卒業10周年を記念した初の同窓会を開いた。当日は恩師の吉岡利恭先生、東典子先生、下根美代子先生、木村光一郎先生、太田裕子先生、塩田憲司先生、向正一郎先生、森博之先生に加え男子20人、女子46人の総勢74人と予想をはるかに上回る集まりとなった。

今回の世話人の一人、私・清水香帆の司会

で始まり、恩師の先生方から一言ずつ頂いた後、本野敦士君の乾杯の音頭で場はさらに和み初めての同窓会がスタートした。久々の再会で大いに盛り上がり、あっという間にお開きの時間となった。共に世話人を務めた蓮本真弓さんが中締めあいさつをし、集合写真の撮影=写真=で幕を閉じた。

その後も別れがたく二次会、三次会で高校時代の思い出話を花を咲かせ、朝まで組も多かった。（清水香帆・記）



#### ◆泉丘61期も初同窓会で193人集う

泉丘61期の初めての同窓会が1月4日夜、金沢エクセルホテル東急で行われ、193人が4年ぶりの再会を懐かしんだ。

この4月に大半が大学を卒業、就職するとあまり自由が利かなくなると考えた私・藤邑恵梨香と桜井惇君、加藤光軌君の3人が相談、各クラス2人ずつ（9クラス）の世話人を作って21人でメールや電話で呼びかけた。

当日は全国の大学に進学している353人の同級生のうち、半数以上が正月帰省などを利用して集い、開会前から大賑わい。藤邑の歓迎のあいさつの後、すぐにフリータイムとなり、立食の気軽さもあり無数の輪ができた。途中のビンゴゲームでは30個の景品獲得を目指して歓声上がり、クラス別写真と全員集合写真撮影で再度盛り上がった=写真=。そんなこんなで2時間半がアツと言う間に過ぎ、桜井君の中締めで閉会となった。

卒論の追い込みで名残を惜しんで帰った人もあったが、半分以上が近くでの二次会に参加、また、電車やバスがなくなって帰れない組のために最初から準備していたカラオケでの三次会は朝まで続いた。（藤邑恵梨香・記）





2012年のミス東大に泉丘63期・金沢市出身の徳川詩織さん(20)が選ばれた=写真・インターネットから=。教養部文科三類2年の徳川さんは11月25日、

**トピックス** '12ミス東大に徳川詩織さん(泉丘63期)

東大駒場キャンパスで開かれた学園祭「第63回駒場祭」の「ミス&ミスター東大コンテスト2012」で、エントリーされていた5人の中からウェブ投票と当日の審査員、さらに会場投票の結果、最高学府の最高美人に輝いた。昨年3月、母校・泉丘の卒業式では、全教

科にわたって成績優秀な上、2年次に英語スピーチコンテスト石川県大会と東海北陸大会で優勝、全国大会でも2位となり、一泉同窓会が贈る「一泉賞」を受賞した。グランプリを獲得した徳川さんは「皆さんの応援のおかげです」と感謝を述べた。

ちなみにプロフィールは身長164センチでA型。お菓子作りとピアノ

が得意で、お気に入りスポットは浅野川沿いの茶屋街と母校・泉丘。「故郷を離れて金沢の良さが分かった」と話す。好きな男性のタイプは何事にも一生懸命な人でご飯を残さず食べる人。座右の銘は「努力は人を裏切らない」とか――。

◆泉丘13期古希の集いに約100人

泉丘13期・三六回の古希の集いが10月21日、湯涌温泉の「かなや」で開かれた。当日は天候にも恵まれ、夕方までに全国各地から約100人の同窓生が集り、開宴前から大賑わいとなった。

上田昭会長が「今日は病気のをやめ、前向きな楽しい集いにしよう」とあいさつ、仙台から駆け付けた伊藤尚朗君の乾杯の音頭で酒宴となった=写真=。すぐさま会場のあちこちに輪ができ、メルアドの交換やいつ果てるとも無い話に花が咲いた。関東からの参加者から「来春、関東三六会を結成するので上田会長や金沢のみんなもぜひ参加してほしい」との注文が出た。別の広間に会場を変えた二次会ではカラオケと酒で深夜まで頑張るツワモノも多かった。

翌日はゴルフコンペもあり、記憶に残る楽しい古希の集いとなった。(米田勇一・記)



◆植樹ボランティアに7人参加

11月11日に珠州市日置地区の里山で行われた「第4回おらっちゃんのお茶炭の森づくり運動」に、泉丘13期・三六会ボランティアクラブの有志7人が参加、植林作業に精を出した。

山の斜面に「炭」の原料となるクヌギの苗木を植えるもので、朝7時にバスで金沢を出発、お昼前の開会式では三六会の野崎和夫君があいさつして一泉同窓会の心意気を示した。

(米田勇一・記)

**ふじむらクリニック**  
内科・循環器科・リハビリテーション科

医学博士 **藤邑 宏克** (泉丘30期)

〒920-0345 金沢市藤江北3-46-1  
TEL(076)267-5577 FAX(076)267-5503

産科 婦人科

**めぐみクリニック**

院長 **上野 浩久** (泉丘31期)

〒920-8217 金沢市近岡町345-1  
TEL(076)237-1135  
URL <http://www.megumi.or.jp/>

特定医療法人 扇翔会

**南ヶ丘病院**

常務理事 院長 **宮崎 俊聡** (泉丘31期)  
整形外科医長

〒921-8141 金沢市馬替2-125  
TEL(076)298-3366(代) FAX(076)298-9276

文化・運動部 OB 会だより

### 第40回桜美会美術展にぎわう

旧制金沢一中と泉丘の卒業生でつくる美術クラブ「一泉桜美会」の第40回美術展が5月22日から27日まで、金沢市の21世紀美術館市民ギャラリー B-1で開かれ、多くの同窓生や市民が鑑賞に訪れてにぎわった=写真=。

今回は OB45人と現役生32人の77人が出展した。洋画、日本画、書、写真、工芸と多彩な作品が並ぶ中でひと際目を引いたのは三須徹さん（一中47期、89歳）の水墨画「無声」。120号の大作で小松市大杉谷手前の山中に残されたツタの絡んだ廃屋を描いたもの。他にも新谷光さん（泉丘14期）は一人で油絵2点、パステル画、写真と4点を出す多才ぶり。また、現役生は油絵、水墨画、沈金と授業課題の中から変化に富んだ作品を出品、校是「心身一如」の木彫を5人で取り組んだ共同制作もあった。



### 36回目の小品展に38点並ぶ

今年も一泉桜美会小品展が10月12日から17日までの5日間、母校近くのグリーンアーツギャラリーで開かれた。36回目の開催で美術愛好者32人が38点を出品してにぎわった。

書、油絵、日本画、水墨、水彩、写真、陶芸から刻字、クレパス、パンフラワー、アクリル、パステル、D・アートと表現方法も様々。いつも書を出品する山川孝さん（一中49期）は李白の「山中対酌」を微笑ましい書画に仕上げ、松村舞子さん（泉丘14期）の「Oh! マルセイユ」や新田千鶴子さん（同18期）の「サントリーニ・イアの夕暮れ」など海外にまで足を伸ばした油絵も注目を集めていた。

### 15回目の野球部 OB 会

一泉野球部 OB 会の第15回総会が8月10日、金沢ニューグランドホテルで会員31人が出席して開かれた。



はじめに物故者の冥福を祈り黙祷を捧げた。続く総会では宮地治会長（泉丘23期）が議長に就き、平成23年度の事業と決算を報告、24年度の事業計画と予算案が承認された。

引き続いての懇親会では宮地会長があいさつ、来賓の村澤勉校長（同期）より祝辞=写真=、北本正伸野球部監督（同42期）から野球部の近況報告の後、野村稔顧問（同5期）の発声で乾杯して酒宴に入った。

各世代の思い出話に花が咲き、また今後も現役野球部を全会員で応援していくことを誓い、最後に校歌を斉唱、中尾治郎副会長（同17期）の閉会のあいさつで散会した。

（谷端時宗=泉丘43期・記）

#### 山崎皮膚科医院

院長 山崎 真孝 (泉丘34期)

〒921-8041 金沢市泉2-31-1  
(金沢高校通り)  
TEL(076)226-8808 (往診可)

医療法人社団 仁生会

#### 渡辺耳鼻咽喉科医院

院長 渡辺 宏 (泉丘36期)

〒921-8815 野々市市本町4-9-12  
TEL(076)246-3331 FAX(076)246-3387

外科・肛門外科・消化器内科・内科

#### 津山クリニック

院長 津山 博 (泉丘37期)

〒924-0024 石川県白山市北安田町1270  
TEL(076)276-5501 FAX(076)218-5503  
http://www.tsuyamaclinic.com/

## OB 講演会から

進路や生き方アドバイス  
社会人と語る会で5先輩

平成24年度の「社会人と語る会」が石川の教育ウィーク期間中の11月3日午後、2年生を対象に啓泉講堂で開かれた=写真右上=。各界で活躍する泉丘高校出身の先輩から経験談を聞き、今後の進路や生き方の参考にした。

パネリストとして招かれたのは渋谷工業(株)プラント営業統括本部 BS 営業本部営業課の小森勝生主任(泉丘45期)、岡田法律事務所の中西祐一弁護士(同46期)、制御盤メーカー・アイデンの池内洋朗取締役(同49期)、金沢市職員で市食肉検査センターの小西世津香獣医師(同51期)、北陸電力(株)土木部水力建設チームの中島奈緒美技師(同53期)の5先輩。コーディネーターは例年泉丘出身の教諭が務めており、今回は浅香直子教諭(同45期)が担当した。

5人は自己紹介に続いて①高校生活と進路選択②現在の仕事への誇り③後輩へのアドバイス—について思いを述べた。その中で人との出会い、本との出会い、人とのつながりを大切にしながら、頑張っていてほしい。泉丘生なら社会で活躍できる人



小森勝生さん



中西祐一さん



池内洋朗さん



小西世津香さん



中島奈緒美さん



浅香直子教諭



材になれると励ました。また、2年生は高校受験直前に東日本大震災を経験しているので、5先輩から地震の体験談も披露された。

## 台湾修学旅行で事前研修

平成24年度の国際理解講演会が2月5日、母校の啓泉講堂で修学旅行の事前研修を兼ねて開かれた。講師は金沢市立ふるさと偉人館の増山仁学芸員(泉丘29期)と台北市立建国高級中学校出身で金沢大学大学院へ留学、博士号を取得して3月に帰国した金湘斌

(きん・しょうひん)さんの2人で、この秋に訪台する1年生400人を前に講演した。

増山さんは「嘉南大圳の父・八田與一(一中11期)の生涯—どうして日台の架け橋と呼ばれるのか」と題して話し、八田先輩の烏山頭ダム建設にかける情熱、日本人と台湾人を差別しない人柄、ダムの規模などについてプロジェクターを使って説明した。

また、金さんは「台湾の現況と少数民族および建国高級中学について」と題して話し、建国中学生徒との交流を深めるため、英語の力を高めようと呼びかけた。



増山仁さん



金湘斌さん

医療法人社団  
**三秋整形外科医院**

院長 **三秋謙太郎** (泉丘37期)

〒920-0015 金沢市諸江町上丁320  
TEL (076) 223-2155(代) FAX (076) 223-2156



**あかまる**  
**整形外科・脊椎**  
クリニック

院長 医学博士 **赤丸 智之** (泉丘39期)

〒920-0348 金沢市松村4-417  
(示野イオンから500メートル海側)  
TEL (076) 255-2121  
URL <http://www.akamaru-clinic.jp>

内科・循環器内科・呼吸器内科  
**ながた内科クリニック**

院長 **永田 満** (泉丘39期)

〒923-1121 能美市寺井町口80-1  
TEL (0761) 57-3777 FAX (0761) 57-3779

母校だより

24年度の生き方講演会

母校・泉丘高校の平成24年度「生き方講演会」が10月18日、啓泉講堂に宇宙飛行士の山崎直子さんを講師に迎えて開かれた。山崎さんは「宇宙・人・夢をつなぐ」と題して講演、全校生徒に対して「高校時代は人生の土台を作る大切な時である。いろんな知識を身につけよう」と訴えた。

山崎さんは1986年（昭和61年）1月29日未明、テレビで宇宙へ向かうスペースシャトル・チャレンジャー号の爆発を知った。8人の宇宙飛行士の尊い命が失われ、中でも初の民間宇宙飛行士で高校教諭だったシャロン・クリスタ・コリガン・マコーリフさん（享年37歳）の死に大きなショックを受けた。中学3年生の山崎さんの夢は先生になることだった。

女性であり、妻であり、母であり、教師だった彼女の夢をつなぐ一人になりたい。そんな思いが山崎さんを自然に宇宙飛行士の道へと導いていったと話す。



生徒の横で質問に答える山崎さん

お茶の水女子大附属高校から東大工学部航空学科に進み、宇宙開発事業団に入社、宇

「高校時代は人生の土台を作るとき」



宇宙飛行士の制服で人生や夢を語る山崎さん

宇宙飛行士山崎さん  
—— 泉丘生に語りかける ——

宇宙飛行士に選ばれてからの訓練の様子、2010年4月5日から15日間、日本人女性二人目の宇宙飛行を体験するまでの話の中で、山崎さんは①外で活躍したい時はまず自分の足元から固めよ、日本のことや郷土のことを勉強しておかねばならない②行動に移さなければ何事も始まらない③分からなければ自分で調べよ、そうすれば身につく④繰り返し訓練・勉強したことはいつか必ず役に立つ—と生徒たちに語りかけた。

また、講演後の質問コーナーでは壇上を降りて質問する生徒の横まで行き、丁寧に答えて握手をするなど気さくな一面も見せた。

医療法人社団  
**溝口デンタルオフィス**  
理事長 院長 **溝口 尚** (泉丘39期)  
〒920-0981 金沢市片町1-4-18  
Talk タテマチビル2F~5F  
TEL (076) 221-0162 FAX (076) 221-0152  
http://www.mizo-dental.com

**T's**  
**ティース 内科クリニック**  
内科・肝臓・内視鏡・消化器内科、  
糖尿病・代謝・内分泌内科  
院長 **土山 智也** (泉丘41期)  
〒920-0348 金沢市松村4-308  
TEL (076) 255-1002 FAX (076) 255-1020  
http://www.myclinic.ne.jp/tsuchiyama/

**中田内科病院**  
**中田 滋** (泉丘42期)  
かほく市内日角 白尾インター近く  
TEL (076) 283-1121 FAX (076) 283-1245



## 泉丘高校で「高峰桜」の植樹式

金沢育ちの世界的化学者、高峰讓吉博士の尽力で米国の首都ワシントンに贈られた桜の子孫の苗木2本が11月29日、泉丘高校に植えられた＝写真＝。ワシントンの桜・里帰り事業実行委員会（飛田秀一実行委員長・泉丘12期）と協賛の北國銀行（安宅建樹頭取・同21期）から贈られたもので、高峰博士は泉丘の前身の金沢一中で、生徒に世界に出る大切さを訴える講演を行った縁がある。

図書館横での植樹式で村澤勉校長（同23期）が「生徒も桜のように成長して世界に花を咲かせてほしい」とあいさつ、清水義博一泉同窓会会長（同22期）、小浦寛副校長（同29期）が加わって苗木の根元に土をかけた。

## 卒業記念に製氷機など贈る



今春、泉丘高校を卒業した第65期生が卒業記念に贈った「製氷機」＝写真＝が第1体育館前の通路に設置された。

製氷時間が早く、一日95キログラムの製氷能力があり、最大ストックは50キログラム。浄水器付きで衛生面も抜群の優れたもの。氷は春先から部活動のための冷たいスポーツドリンクづくりや、怪我をしたときのアイシング用に利用される。

### トピックス

母校の正門に入って右側にある富田輝象金沢一中初代校長（明治26年8月～30年11月）の胸像が、ウエディングドレスを着た花嫁かローマ帝国の戦士のように変身した＝写真＝。2月22日の未明に振った雪が像に積もったもので、正午前には元の姿に戻った。

富田校長の像にはいろいろな逸話が残っている。昭和3年の建立で、反対側に建つ久田督3代校長像（最初は立像）より14年も遅れて建てられた。昭和12年、新校舎完成で両校長像は本多町から現在

## 富田校長(初代)像が変身

地に移転したが、太平洋戦争末期の物資不足で同18年9月、軍部に供出された。



しかし、一中の伝統を泉丘に継承してほしいと強く願う一中OBの熱意で同29年、両校長像は現在の姿に再建された。

同容量の製氷機はすでに体育教官室に1台設置されているが、夏には氷が不足していた。また、室内に設置されているためグラウンドなど戸外で練習する部員は、氷を取り出すのが不便だったことや、教諭が不在のときは利用できないこともあった。

真夏の炎天下で猛練習する野球部やサッカー部の女子マネージャたちは、これで氷不足を心配しなくてもよく、冷たい飲み物を手軽に準備できる一と先輩たちの心のこもったプレゼントを喜んでいる。

65期生はこのほか、卒業記念としてプロジェクター3台を贈った。大講義室と理数科の1、2年生の教室に設置された。

SSHの  
交流事業  
理数科2年生の15人  
初の訪米で国際性を育む



泉丘高校の平成24年度スーパーサイエンスハイスクール（SSH）国際交流事業は、8月2日から9日までアメリカのニューヨークやワシントンDC訪問で行われた。将来有意な科学技術系人材の育成と国際性を育むために同14年、文部科学省の指定を受けてスタートした泉丘のSSHは現在Ⅲ期目。これまで韓国、中国、英国を訪れて研修を行って来たが、アメリカを訪問するのは今回初めて。参加した理数科2年生15人は実りある7泊8日の旅を過ごした。

一行は2日目にニューヨークの国連本部を見学＝写真①＝の後、ニューヨーク大学の脳磁研究所を訪問、3日目にはメトロポリタン美術館、4日目には列車でワシントンDCへ移動してホワイトハウス（車窓）やリンカーン記念館を見学、さらに5日目にはタウソン大学STEMエクセレンス・センター＝写真②＝で、同センター研究員の指導で生命工学に関する実習を体験、6日目にはゴダード宇宙センターを訪問して航空宇宙工学について

## おめでとう 一泉賞

通信制の島田さんが受賞

平成24年度の「一泉賞」が3月3日に行われた通信制卒業式の席上、清水義博一泉同窓会会長から島田祐衣さん＝写真＝に贈呈（賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円分）された。一泉賞は同6年、創立100周年記念事業の一つとして設けられたもので、全日制では全国大会での上位入賞者に、通信制では学業と課外活動を両立させた生徒に贈られている。残念ながら今年度は全日制での受賞該当者はいなかった。



島田さんの受賞理由は次の通り。

計画的な学習に取り組み、英語や化学といった薬学部進学に必要な科目を積極的に履修し、念願であった北陸大学薬学部への進学が内定した。また、学業と生徒会活動を両立させた。2年次には生徒会書記、3年次には生徒会長として他の生徒をまとめ、学園祭でもリーダーシップを遺憾なく発揮した。

も見聞を広めた。

訪米実現には泉丘OBの国連本部職員やニューヨーク在住OBの力添えがあった。



印刷・出版・マーケティング・eビジネス

株式会社 橋本確文堂

代表取締役社長 橋本 勝郎  
(泉丘12期)

営業本部 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10

TEL: (076)242-6121 FAX: (076)243-7945

東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12

TEL: (03)5472-7030 FAX: (03)5472-5101

www.mba.co.jp

印刷/事務機器・事務用品販売/WEB制作



株式会社 山越

http://www.kai-p.co.jp/

代表取締役社長 山越 昭雄(泉丘11期)

■本社 〒920-0001 金沢市千木町70番1

TEL (076) 257-9101 (代) FAX (076) 257-9119

■東京支社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目12番18号

TEL (03) 5413-7778 (代) FAX (03) 5413-7766

## 平成24年度一泉文庫寄贈・購入本

書名	著者	購入・寄贈者
吉田長淑 わが国初の洋方内科医	小林弘子 (泉丘12期)	寄贈・小林弘子 (泉丘12期)
アクタス4月号 (東大入試速報)	北國新聞社	購入
「朱木」東京版7号	金沢一中54期・朱木会東京支部	寄贈・金沢一中54期
短編小説集「虹の橋」	紺谷 猛 (泉丘4期)	紺谷 猛 (泉丘4期)
アクタス6月号 (全国主要大学高校別合格者数一覧)	北國新聞社	購入
合同句集 青胡桃	東野昭子 (泉丘10期) ほか	寄贈・東野昭子 (泉丘10期)
金沢の工芸土壌—加賀藩御細工所の潮流—	小松暁一 (一中57期)	寄贈・小松暁一 (一中57期)
私家本「軌跡」	上谷親夫 (一中55期)	寄贈・上谷親夫 (一中55期)
認知物語論の臨界領域	西田谷洋 (泉丘37期) ほか	寄贈・西田谷洋 (泉丘37期)
メタフィクションの圏域	同上	同上
室生犀星王朝小説の世界	西田谷洋 (泉丘37期) 編	同上
毎田周一 君 気持ちを大きくもとう	編・徳永文一	寄贈・徳永文一〈事務局注・毎田周一—一中31期〉
五行歌集 大切な時間—癌との戦い—	叶 静游 (本名 和田静夫・一中51期)	寄贈・叶 静游 (本名 和田静夫・一中51期)
五行歌+対談集 生死一如	同上	同上
五行歌集 旅—寛容の世界—	同上	同上
五行歌集 フクシマに立つ	同上	同上

## 通信制だより



## 川崎小松市議に卒業証書

泉丘通信制過程の第56回卒業式が3月3日、啓泉講堂で行われ、村澤勉校長から小松市議の川崎順次さん（58）＝写真・北國新聞社提供＝ら145人に卒業証書が贈られた。

川崎さんは市議会議長を務めた後の平成22年春に入学。議員活動の傍ら、授業や学校行事に出席、レポートもまじめに提出して3年間で念願の卒業に漕ぎつけた。小松工高を中退していた川崎さんは「卒業しなかったことを何度も後悔した。泉丘に通って本当によかった。年の離れた同級生から刺激を受け、勉強に励み充実した3年間だった。これからも何事にも前向きに取り組んでゆく」と喜びいっぱいだった。

## 活躍する後輩たち

## 将棋竜王戦、坂口君が連覇



第25回高校将棋竜王戦の石川県大会が6月24日、金大附属高校で行われ、昨年優勝の泉丘高校の坂口智暉君（2年）＝写真＝が連覇を果たした。

この日は74人の高校生棋士が出場、決勝戦は坂口君と航空石川の狩谷桂寿君の対戦となり、坂口君は攻め込まれたものの逃げ切った。

全国大会は8月21日、福岡市で行われ、坂口君は2勝1敗で予選リーグを突破したが決勝トーナメントの2回戦で破れ、昨年のベスト8には及ばなかった。

## ◆熊谷君、全国文芸コンで優秀賞



高校生の文芸の最高峰、第27回全国高校文芸コンクールで泉丘2年の熊谷亮祐君＝写真＝が俳句部門の優秀賞に選ばれた。

熊谷君は蝿、葉桜など夏の季語を用いて詠んだ30句を応募し、「さびしさは渋谷109の蝿」が入賞した。上京して渋谷に寄ったとき、雑踏の中の1匹のハエに誰も気づかない。自分もハエと同じだろうとの気持ちを詠んだ。

## 東大に15人、京大に16人合格(前期)

東大、京大など国公立大の前期入試合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に15人(現役9人)、京大に16人(同7人)が合格した。難関2大学の合格者数を他高校と比べると、金大附属(東大9人、京大5人)や富山県1位の高岡(東大11人、京大11人)を大きく上回った。

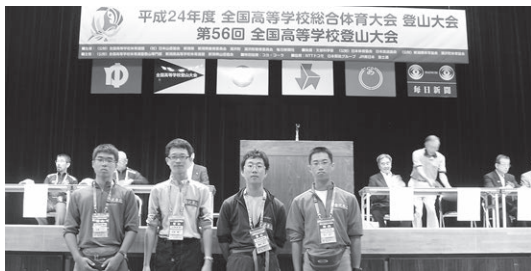
その他の有名国公立大では阪大21人、神大19人、名大15人、北大9人、一橋大7人、東北大と東京工大に各4人が合格した。

また、金大には昨年を30人上回る84人が合格、うち医学類は昨年より2人多い13人、薬学部も13人だった。今年も医学類を目指す生徒が多く、私大を含めた医学部の合格者は27人(現役8人)で浪人生の健闘が目立った。

## 登山部が11年ぶりに総体優勝

平成24年度の石川県高校総体登山大会が5月31日から6月2日まで、白山釈迦岳と赤兎山踏破コースで行われ、泉丘チームが11年ぶりに優勝した。

メンバーは大澤一人、松本耀介、貫井洋介君(以上2年)と西下遼介君(1年)の4人



＝写真＝。60キロ以上<sup>キログラム</sup>の荷物を分けて担ぎ、標高2000<sup>メートル</sup>強から1600<sup>メートル</sup>の山を上り下りする。その間、隊列、体力、歩き方のバランスから現在地確認、タイム、マナーなどが厳しくチェックされるほか、気象、自然、救急の知識や幕営、炊飯の技術も競う。泉丘は100点満点中、88.1点で全国へのキップを手に入れた。

全国大会は8月7日から11日まで新潟県の苗場プリンス幕営地を基地に平標山、苗場山、三国峠の3コースで行われ、泉丘は全国46チーム中25位だった。

また、県高校新人大会が9月13日から15日まで白山平瀬道から頂上を目指すコースで行われ、泉丘は同じメンバーでやはり優勝した。

部員たちは近くの大乗寺山や犀川まで走り、雨の日は校舎内でリュックを担ぎ、5階まで階段を上り下りして体を鍛えている。

### ◆河北潟一周駅伝で泉丘Aが優勝

第92回河北潟一周駅伝競走大会が11月23日、津幡町役場発着、全長35.7<sup>キロ</sup>、6区間で行われ、泉丘A(坂池秀生、半田樹、外尚之、池田康太、岡本新平、吉川諒平)が2時間2分54秒で12年ぶりに優勝した。泉丘は1区の坂池が首位で飛び出し、4区で2位鶴来に逆転されたが5区岡本がトップを奪い返した。

## 〈編集後記〉

一泉同窓会前事務局長の正村健三先生が昨年(平成24年4月17日)亡くなりました。享年78歳。思い起こせば先生は一中・泉丘に深い愛着を持っておられた。と言うのも父・正村泉さんは一中・一高の英語の先生。自身も一中58期入学、泉丘4期卒業で社会科教諭、教頭と通算17年間も母校に勤められた。さらに定年の同6年から11年間、今度は同窓会の事務局長として活躍された。予断かもしれないが長男に「泉一」と名付けられたことからしても思い入れの強さをうかがえる。

先生は事務局長を辞されてからもちょくちょく同窓会に顔を出された。傑出した一中生の記録を整理したいと念じておられ、「一泉」の編集に際しても多くのヒントをいただいた。33号の「日台の架け橋となった八田與一(一中11期)」、34号の「レーダー開発の谷恵吉郎海軍大佐(同20期)」、38号の「一中45期・海兵3士官の戦記」などである。

先生の一週忌を前に、これからも埋もれた同窓生物語を拾い集め、残していきたいと思っている。合掌。(N)

### 「一泉」編集室

中山一郎(泉丘10期) 浅香以都子(同10期)  
小林弘子(同12期)

題字・高川義一(一中53期・泉丘2期)